

石見銀山世界遺産センター

IWAMI GINZAN WORLD HERITAGE CENTER

2008 年報

(平成20年度)



世界遺産 石見銀山遺跡とその文化的景観
Iwami Ginzan Silver Mine and its Cultural Landscape

はじめに

「石見銀山世界遺産センター」は、平成16年11月、当時の熊谷國彦大田市長が、石見銀山遺跡の拠点施設について、島根県の支援を得ながら大田市立として整備することを表明し、整備事業を開始したところであります。

当時は、邇摩郡温泉津町・仁摩町との市町合併前であり、景観保全条例の制定、鉱区禁止地域の指定、国史跡の追加指定、世界遺産推薦書の作成など、島根県と1市2町の担当者が共同してさまざまな業務を重ね、拠点施設の立地場所、機能と規模、展示内容などを検討していた時期でもありました。

平成17年10月1日、新「大田市」が発足し、平成18年3月、立地場所を「市民ふれあいの森公園（大森町）」に決定し、同年6月議会で拠点施設整備事業が予算化され、建物は景観に配慮し、ガイダンス棟・展示棟・収蔵体験棟の3棟分棟方式とする設計といたしました。平成19年1月にガイダンス棟の建築工事に着手、同年10月4日、「ガイダンス棟」を先行して開所し、2期工事として残り2棟の建築工事と展示工事に着手し、平成20年10月20日、「石見銀山世界遺産センター」が全面開所し、現在に至っております。

この間、石見銀山遺跡は平成19年7月2日に「石見銀山遺跡とその文化的景観」としてユネスコの世界遺産に登録されました。「世界的に重要な経済・文化交流を生み出したこと、伝統的技術による銀生産方式を豊富かつ良好に残していること、銀の生産から搬出に至る全体像を不足なく明確に示していること」が世界遺産にふさわしい価値として認められたものですが、加えて「環境に配慮し、自然と共生した鉱山運営」という点が、世界遺産委員会の審議において高い評価を受けました。このような石見銀山遺跡の持つ顕著な普遍的価値を大切に守り、世界遺産として後世に継承していくため、この石見銀山世界遺産センターが拠点となるもので、さらにユネスコの「平和と人権尊重」の精神についても、広く伝える役割を果たしていきます。

また、石見銀山世界遺産センターの隣接地には約400台分の駐車場を備えており、来訪者が路線バスに乗り換えて遺跡の中心部と町並み保存地区へ向かう「パーク&ライド」の拠点となっており、併せて、「石見銀山遺跡の玄関」として遺跡の紹介だけでなく、周辺の地理案内等の情報提供も行っています。

石見銀山世界遺産センターでは、平成20年4月から島根県教育委員会の職員も駐在し共同で、石見銀山を守り、育み、価値を高め、活かす新たな取り組みを始めています。引き続き、調査研究を進め、世界遺産としての石見銀山遺跡の魅力を分かりやすく伝えていくためのガイダンス機能の充実を図り、皆さまのご期待に応えていけるよう取り組んでまいります。

この間、地元の方々をはじめ、文化庁、島根県、工事関係者等、石見銀山世界遺産センターのオープンにご尽力いただいた多くの皆さまに感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご指導とご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成21年11月

大田市教育委員会教育長 小川和邦

目次

はじめに

目次

I. 石見銀山世界遺産センターの概要

1. 設置の経緯と概要 4
設置の経緯／整備に関する主要経過／世界遺産センターの業務・組織／世界遺産センターがめざすもの
2. 施設の概要 8
施設の配置・規模等／館内平面図／全体配置図
3. 展示の概要 12
展示のコンセプト／第1展示室「世界史に刻まれた鉱山遺跡」／第2展示室「石見銀山の歴史と鉱山技術」／第3展示室「総合調査の成果」／第4展示室「未来に引き継ぐ石見銀山遺跡とその文化的景観」

II. 開館に向けての活動記録

1. ガイダンス棟開所式（先行オープン）・内覧会 17
地元関係者向け内覧会／開所式
2. フルオープン記念式典・内覧会 19
報道機関・地元関係者向け内覧会／フルオープン記念式典

III. 管理運営業務の実施状況

- 平成19年度・20年度の概観 21
概観／入館者の状況等／主な入館団体／誘客・広報事業

IV. 総合調査研究業務の概要

1. 考古学的調査研究 25
発掘調査の概要／石造物調査の概要／その他の調査の概要
2. 歴史・民俗学的調査研究 31
文献調査の概要／地図・地名、人権・同和問題調査の概要／教育普及方法等調査の概要
3. 自然科学的調査研究 35
考古資料分析調査の概要／生物調査の概要／資産保全調査の概要
4. テーマ別調査研究 37
石見銀山遺跡の調査研究の概要／鉱山遺跡比較調査研究の概要

V. 遺跡の保全・管理業務の概要

資産の経過観察（モニタリング）	41
概要／定期報告『保全状態の測定にかかる指標』（抄）	

VI. 教育・普及業務の概要

1. 公開講座の開催	43
第1回公開講座「石見銀山周辺及び石見地域の石造物」／第2回公開講座「銀座と銀貨」	
2. 体験学習イベントの開催	45
福光石の加工体験／体験イベント～丁銀を作ってみよう！銀山の製錬作業を体験しよう！	
3. 情報コーナー展示の実施	47
清水谷製錬所跡発掘調査速報展／福光石の加工体験作品展	

VII. 石見銀山遺跡関連事業の概要

1. 遺跡整備事業	48
大森銀山地区重要伝統的建造物群保存修理事業／温泉津地区重要伝統的建造物群保存修理事業／史跡整備事業	
2. 情報発信事業	56
石見銀山遺跡世界遺産登録1周年記念事業／石州銀展	
3. その他の事業	59
石見銀山遺跡調査活用委員会／石見銀山遺跡保存管理委員会／石見銀山協働会議／大久保間歩一般（限定）公開	

VIII. 職員及び運営スタッフ

IX. 利用案内

X. 各種資料

1. 石見銀山遺跡に関する活動等日誌	67
2. 石見銀山関係予算	71
3. 刊行物等	73
4. 関連記事	74
5. 大田市石見銀山拠点施設の設置及び管理に関する条例	80
6. 大田市石見銀山拠点施設の設置及び管理に関する条例施行規則	84

（注）本年報内の所属・役職名等は、平成19年度及び20年度当時のものです。